

第17回 U18、第54回U16陸上競技大会

U18 1500m 3位入賞

日時:10月22日(日) 場所:愛媛県総合運動公園陸上競技場



2年1組 岡藤 美音 (七尾中学校出身)

U18陸上競技大会の1500mに出場しました。前回大会では入賞を逃し、今シーズンはインターハイ進出を逃すなど悔しい思いをした私は、部員と共にさらに練習に励み、「勝ちたい」という強い気持ちで走りました。今回のレースはスローペースだったので位置取りを巡って小競り合いがあり、後方からのスタートでしたが、2周目からは先頭集団で走ることができ、ラストスパートを自分から仕掛けることができました。ラスト100mで抜かれたため優勝こそ逃しましたが、難しい展開の中で力を発揮することができました。レース前に応援メッセージを送ってくれた仲間、ライブ映像を見ながら応援してくれた方、応援に来てくださった先生方のおかげで入賞することができました。これから行われる駅伝や来シーズンに向けて駅伝部全員で頑張っていきます。今後も応援よろしくお願いたします。



広島県高等学校弓道新人大会(近的競技)

個人 第2位

日時:10月28・29日(土・日) 場所:広島県立総合体育館 弓道場

2年13組 谷 朱梨 (五日市南中学校出身)

県新人大会では予選・準決勝共に4射3中という結果を残し、初めての個人入賞、そして中国大会と全国大会の出場権を獲得することができました。そして、賞状をいただいた嬉しさと同時に何百人もの選手の中から上位に入賞することの難しさを実感しました。次の中国大会や全国大会では、県新人で優勝・皆中でできなかったことを十分に発揮できるよう、精一杯頑張ります。そして、広島県代表の選手としての自覚を持ち、たくさんの方の期待に応えられるように他県の選手と全力で闘えます。応援よろしくお願いたします。



記念撮影、賞状が輝いています!



日頃の練習風景、真剣な眼差しです!

広工大高

Report

令和5(2023)年12月

VOL. 156



学校法人 鶴学園

広島工業大学高等学校 [全日制課程]

<https://www.kodaikoko.ed.jp/zennichi/>

●建学の精神:教育は愛なり ●教育方針:常に神と共に歩み社会に奉仕する

「サンフレッチェ広島工大高ジュニアユース」設立記者会見

日時:2023年10月6日(金) 場所:おりづるタワー



左から本校山口校長、鶴学園鶴健太郎理事、サンフレッチェ広島代表取締役社長仙田信吾様、サンフレッチェ広島アカデミーダイレクター沢田謙太郎様

サンフレッチェ広島は「サッカー王国広島」の復活を目指しています。ジュニアユース年代のチームを増やすことで、力と才能のある選手が増え、活躍できる機会が増えると考えています。サンフレッチェ広島のジュニアユースセレクションには毎年200人を超える選手が受けており、その中で20名ほどしかチームに入ることができない現状です。入れなかった選手の中にも力と才能のある選手が必ずおり、そのような選手たちの活躍の場は広島県外でした。全国では高校のチームが中学生のチームを作り活動し活躍しているチームが出ています。この度、地域に貢献するため、サンフレッチェ広島と広島工業大学高等学校とが協力して新しいジュニアユースのチームを作り、練習場所を提供することにしました。

主に、火曜、木曜、金曜に本校のサッカー場にて練習を行います。来年度の4月より活動が始まります。詳細は「サンフレッチェ広島」のホームページにてご確認ください。

CONTENTS

体育祭	1・2
インターハイ/愛好会紹介	3
部活動紹介	4・7
大学訪問/生徒会新メンバー決定	5
芸術鑑賞	6
健康教育講演会	7



健康教育講演会

2年生

『性と生を考える』

日時:6月15日(木)2・3時間目
講師:河野 美代子先生
(河野産婦人科クリニック院長)

医師としてのご自身の体験とデータを踏まえながら、性についての多くの知識と向き合い方を教えていただきました。河野先生から生徒達に次のようなメッセージをいただきました。

「性は大切なものであり、素敵なものです。」「自分で自分の体の管理ができる大人になってください。」「自分自身の体に責任を持つこと、そして自分がどう関わっていけるか本気で考えてください。」

●性の言葉は恥ずかしいし、あまりオープンにすべきではないと考えていたけれど、今回の講演を聞いて、オープンにしていけないと正しい情報は広まらないし、逆に間違った情報が広がる可能性も出てくるのが分かった。また、自分が親の立場になったときには正しい知識を伝えてあげたいと思ったし、そのためには自分自身が正しい知識を持つことが必要だと考えた。

●子どもを産むということは、重い責任があることが分かった。子どもはかけがえないものだから、産まれたときに嬉し涙が流せる人になりたい。
●医師の方から見た現実を聞くことができ、目が覚めるような思いだった。同年代の女性が「産むつもりだった」と発言、そしてその具体性の無さの差が現実なんだろうなと考えさせられた。

3年生

『性の多様性の理解に向けて』

日時:6月16日(金)5・6時間目 講師:河口 和也先生(広島修道大学人文学部教授)

ゲイの当事者として、ご自身の幼少期からのライフヒストリーを話されました。最後にこのようなメッセージを生徒達にいただきました。

「性の多様性とは、生き方の多様性の問題です。」「人々が多様な生き方が見えるようになるためには、まずは知ること、学ぶこと、そして学びなおすことが必要になります。」

●ジェンダーやセクシャリティーについて世界的に理解されているが、日本は性別に対する偏見や考え方が偏っていると聞いた。「自分は普通だ」と思っている人が多く、自分と違うから気持ち悪い、怖いといった考え方が生まれ差別が起こっていると考えた。「普通」という認識のしかたは間違っていないけれど、「普通」のあり方を改めるべきだと考えた。少し違うだけで傷つけたり、傷つけられたりすることはあってはいけないから、正確な知識や柔軟な考え方を人々と接したい。



しっかりと耳を傾け、各々考えている様子でした

●幼いころから性について悩み誰にも相談できないのは、とても辛いことだと思いました。性について理解はできるけれど、性を平等にするということはとても難しい事だとも感じます。何かを変えようとする、何か別の問題が起きてしまうので、どうすればみんなが傷つかず生きていけるのか考える必要があると思いました。



令和5年度 体育祭

グリーンアリーナにて

令和5年
6/13(水)

本校創立以来初めて屋内で体育祭を行いました。一年前から準備に準備を重ね、生徒たちも校内の体育館での予行演習でイメージトレーニングを行い、無事本番をグリーンアリーナで迎えることができました。全生徒が赤・青・白色のチームに分かれ、白熱した競技を全員で応援し、アリーナ全体が熱くなりました。

また予想以上に多くの保護者様がご来場され、生徒たちに熱い声援を送っていただきました。ありがとうございました。

順位	色別		
	1 赤	2 白	3 青
ダッシュ1番 (1年生)	215	180	265
2人3脚 (2年生)	330	270	180
10人11脚 (3年生)	300	300	220
工大高No.1 (各色代表)	70	30	110
鉄人レース (各色代表)	130	10	70
玉入れ (1年女子)	300	100	200
綱取り合戦 (1年男子)	300	200	100
綱取り合戦 (2年女子)	300	200	100
撓軍綱引き (2年男子)	100	200	300
押忍大玉 (3年女子)	300	100	200
騎馬戦 (3年男子)	300	100	200
色別対抗リレー (各色代表)	150	300	450
合計	2795	1990	2395



赤組 | 3年5組 橋本 真幸 (安西中学校出身)

昨年度から始まった縦割りのチーム分けに加え、今年初めてのグリーンアリーナでの開催で、例年と異なる体育祭になりました。大変だったこともありましたが、生徒全員や教員の方々、そしてグリーンアリーナに来てくださった観客の皆様のおかげで成功した体育祭だったと思います。自分が赤組の団長に決まったときは、不安と緊張感でいっぱいでしたが、皆が協力してくれたおかげで無事にやり切ることができました。赤組の優勝が発表されたときは、嬉しさと赤組のみんなへの感謝の気持ちが込み上げてきました。競技をしている者も応援している者も全員が輝いていて、思い出に深い体育祭になりました。

青組 | 3年2組 三井 美弥 (岩国市立麻里布中学校出身)

グリーンアリーナでの初めての体育祭で、その実行委員となり、実感のないまま本番を迎えました。体育祭の予行で初めて全校生徒の前に立った時、自分の役割の重大さに気づきました。その予行から体育祭当日までの限られた時間の中で、体操の号令の練習をしたり、優勝カップの授受の練習をしました。最終的には優勝カップの授受の練習は活かされませんが、このグリーンアリーナでの体育祭開催は大変よい思い出になりました。皆さん、お疲れ様でした。

白組 | 3年3組 花田 悠磨 (和木中学校出身)

新しい環境であるグリーンアリーナでの開催で、不安な部分もありましたが、体育祭を無事成し遂げることができました。印象に残っていることは、競技者と応援者の距離感です。野外での開催と比べてかなり近く感じられ、今まで体験できなかった熱気に包まれた体育祭でした。また、3年生で行われた10人11脚では、グループ内で声をかけ合い、1位でゴールすることができました。白組は3位という残念な結果でしたが、1人1人が全力で取り組んだおかげで、最高の体育祭を過ごすことができました。白組の皆さん、そして体育祭に関わってくださった全ての方々、楽しい体育祭をありがとうございました。

翔び立て若き翼 北海道総体2023

轟かせ魂の鼓動北の大地へ大空へ



競技の様子

石高さん(左)と富山先生

陸上競技 ●2023年8月2日(水)～6日(日)

●札幌市厚別公園競技場

2年2組 石高 沙綾(井口中学校出身)

8月4日に行われたインターハイの走り幅跳びに出場しました。結果は5m48で予選敗退となりました。人生で初めてのインターハイは、想像以上に緊張感があり、思い切った跳躍ができませんでした。一筋縄ではいかないことがわかり、悔しい思いをしました。しかし、会場の雰囲気や空気感を知ることができ、入賞が程遠いわけでもなく、力を十分に発揮することができれば全国でも通用するということがわかった試合でした。また、広島県代表の方々が活躍されている姿を実際に目にする中で、来年は私も全国の舞台上で活躍したい気持ちが高まりました。今回の経験を糧にして、今後も練習を積んでより強くなって挑みたいと考えています。来年のインターハイには、決勝に進み、笑って終われるようにしたいです。

愛好会紹介

今年度発足した書道愛好会です。

週に2日、火曜日と金曜日の放課後に美術室で活動しています。自分の好きな字を楽しんで書くことを大切に活動しています。

- 2年 3組 尾崎 漣(大野東中学校出身)
- 2年 10組 藤本 美織(城山中学校出身)
- 2年 11組 小吹 真奈(庚午中学校出身)

私たちは、男子2名、女子7名の計9名で楽しく活動しています。書道を専門としておられる先生にもご指導頂き、大会への出品を目標にしながら日々練習を重ねています。学校祭では作品展示や大書揮毫を計画しています。是非ご覧くださいね。



心静かに、集中して作品に取り組みます



恥ずかしがり屋が多いので、後ろ姿で失礼します



お手本をよく見ながら丁寧に書いています

柔道競技

●8月8日(火)～12日(土)
●北海きたえーる

2年7組 大野 颯斗(七尾中学校出身)

北海道で行われたインターハイに60kg級の広島県代表として出場しました。初戦で熊本県代表の選手に技有を2つ取られ、一本負けとなりました。初戦敗退という悔しい結果に終わりましたが、会場の雰囲気や出場選手の試合を間近で観戦することができ、多くの経験を得ることができたと感じています。インターハイ出場は、日頃指導して下さる先生方や応援してくれる保護者、そして一緒に稽古に励む柔道部員のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、来年のインターハイでは上位入賞できるよう、日々の稽古を頑張っていきたいと思っています。



大野君(左)と村上君(右)

水球愛好会が今年からできました。

平日は鶴記念体育館やグリーンアリーナにて、週末は他校にて活動しています。部員は現在3名ですが、他校の生徒と一緒に練習に励み、良い刺激をもらっています。インターハイ出場と工大高校にプールのことができるのが当面の夢です。

2年5組 黒河 隆誠(五日市中学校出身)

私は水泳経験はありますが、水球は初心者です。水球は、水の中でボールを奪い合うので、思った以上にハードなスポーツです。部員が7人になれば、単独チームで試合に出場できるので、来年度は部員が増えることを願っています。



みんなでガッツポーズ(左から藤中、土佐岡、黒河)



ハンドアップで相手のシュートを守っています



ダンス部

ダンス部がコロナ禍で活動が制限された学生を応援する企画「青春応援ステージ」に選ばれ、出場しました。たくさんの観客の前で、自分たちで作り上げた5作品を堂々と披露していました。

6/11日 ① フラワーフェスティバル カーネーションステージ

2年9組 森田 向日葵(大竹中学校出身)

私たちダンス部は、フラワーフェスティバルのカーネーションステージ(メインステージ)に出演させていただきました。4年ぶりに開催されたこの機会に出演することができ、とても嬉しかったです。引退した先輩方と再び共演することができたこと、1・2年生だけの作品で新しい工大高校ダンス部の踊りを披露することができたことは、とても良い思い出になりました。この貴重な経験を、今後の活動にも活かしていきたいと思っています。

日本文化部

全国高校生花いけバトル 広島大会2023

7/23日 ②

アルパーク 東棟2階 時計の広場

チーム名:「カメリア」
先鋒:六郎 比奈子
次鋒:太尾田 悠斗

1年2組 六郎 比奈子(大塚中学校出身)

2人とも初出場であり、本番まで不安なことがたくさんありました。そのため、チーム間だけではなく、先生や先輩方、そして仲間にわからないところを聞き、アドバイスをもらいながら大会までたくさん練習しました。結果として予選ラウンドでは同率3位で準決勝に進み、決勝では次鋒の逆転で優勝することができました。予選ラウンドと決勝それぞれで竹を六等分することに挑戦して観客の皆さんに大きな印象を与えることができたと思います。私たち自身も初めてのことに挑戦して新しい経験をするのができたのでとても良かったです。今回、このような結果を残せたのは応援してくださった先生方や家族、仲間のおかげです。2月4日の全国大会ではたくさん練習して良い結果が出せるように全力で頑張ります。応援していただき、本当にありがとうございました。

2年3組 太尾田 悠斗(翠町中学校出身)

優勝できるとは思っておらず、本番では悔いが残らないよう、とにかく練習のように落ち着いて、きれいに花をいけることだけを心がけていました。自分の力を出し切るために全力で集中していたので、優勝した時は驚きと喜びでいっぱいでした。応援してくださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

各地区大会を勝ち抜いた強豪校に立ち向かうことができるよう、残りの期間で今まで以上に花の見せ方を勉強し、自分たちの課題の克服に向けて努力を重ねます。全国大会ではここまで一緒に練習に励んできた仲間の思いを背負い、5分間で自分の力を出し切り、良い成績を持って帰れるように頑張ります。

平和記念式典添釜

平和記念式典に参加された方々にお茶でおもてなしをさせていただきました。

8/6日 ③ 広島国際会議場

2年3組 蘭 博(大竹中学校出身)

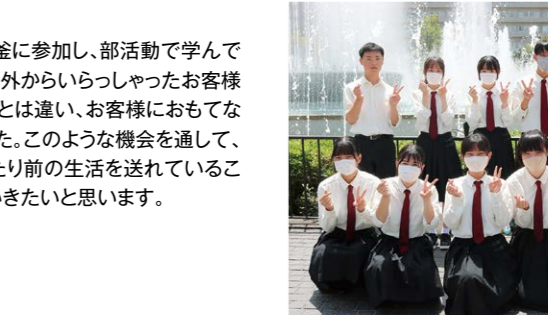
校外で初めてお客様にお茶でおもてなしをさせていただきました。このような貴重な機会をいただけたことは大変光栄です。今後も恵まれた環境で稽古ができていくことに感謝し、日本文化部の活動がよりよいものになるよう、日々の活動を大切にしていきます。

2年13組 飯守 蒼緒(小方中学校出身)

8月6日に開催された平和記念式典添釜に参加し、部活動で学んでいる上田宗箇流の茶道を通して、国内・国外からいらっしゃったお客様におもてなしをいたしました。普段の稽古とは違い、お客様におもてなしをするのは初めてで、とても緊張しました。このような機会を通して、平和について改めて考え、これからも当たり前の生活を送れていることに感謝しながら日々の活動を頑張っていきたいと思っています。



写真はすべて © 広島花きイノベーション事業推進協議会



大学訪問

岡山大学を訪問しました

7月7日(金)2年1・2組全員
(特別進学類型)

今回、岡山大学の医学部(保健学科)、工学部(情報電気系、化学生命系)、教育学部、経済学部のいずれかに分かれて学部学科の説明を聞き、また実習や実験に参加することができました。総合大学としての規模の大きさに驚きつつも、大学生の様子を直接見て「落ち着いた環境の中で勉学に取り組んでいた」「大学生がどんな質問にも一生懸命向き合ってくれた」と生徒達は感じていました。2年生の夏前に、大学への進路意識をさらに深める良い機会となりました。



赤ちゃんの人形を用いて、抱っこやおむつ交換の体験をしました



全体説明会にて岡山大学のアドミッションポリシーを理解していました

2年1組 岡藤 美音 (七尾中学校出身)

岡山大学は医療と教育を中心に発展してきた大学であることを初めて知りました。4つの研究センターがあり、その中で中性子線による癌治療や体外受精など現在多様化した課題に向き合うための重要な研究をされていると感じました。また、英語で授業を受けられるGDPや、自然現象の中で「知りたい」を学んでいく理学部、各々の教員の個性を大切に自信をもって話ができる教師を育成する教育学部など、岡山大学の魅力を直接感じることができました。

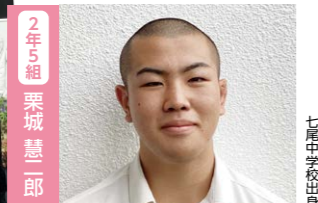
2年1組 村上 遥花 (五日市中学校出身)

岡山大学には2つのキャンパスがあり、学部ごとに必要とされる能力が異なることが分かりました。特に教育学部では、子供達の疑問(それぞれその時にしかない疑問)と一緒に考えて実践する、子どもに寄り添える専門的な知識を持った教員を育成する、対話的学びを尊重させるような授業作りを目指している点に共感しました。

New 生徒会新メンバーが決定しました



7月6日(木)生徒会立会演説・選挙が執行され、新メンバーが無事決まりました。始業式・終業式・卒業式をはじめ、学校祭やクラスマッチなどたくさん学校行事で活躍する場があります。



【生徒会長】私が生徒会長に立候補した目的は、元気の良い挨拶が飛び交うような気持ちの良い学校にしていきたいからです。そのために学校行事を通して学校生活に活気や礼節をもたらしたいです。1年という短い期間ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



【副会長】私は今「一生懸命適当に!」に向け頑張っています。副会長となり少し経ちましたが、不慣れな点がまだまだ多いので温かく見守ってください。引き続き応援よろしくをお願いします。



【副会長】私は工大高校をより良くしていきたいという思いがあります。心から「学校生活が楽しかった」と感じてもらえるようにしていきます。そのために、一人一人の生徒がどう思っているのか、何を望んでいるかを浮き彫りにし、多くの人が心から楽しめる環境作りをしています。自分一人で何とかしようとせず、生徒会の皆さんと協力して環境作りを精を出していきます!



【会計】出身校の江波中学校で感銘を受けた生徒会のように不撓な活動を行えるよう、尽力して参ります。よろしくお願いします。



【会計】会計の仕事も頑張りますが、当たり前の事を当たり前にできる1年間になりたいです。



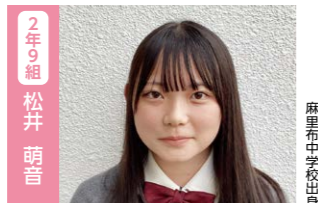
【会計監査】クラスマッチや体育祭、文化祭などの行事で生徒が楽しめるように話し合いをして、会計の仕事にミスが無いかを確認し、自分の仕事を完璧にできるように頑張ります。



【会計監査】私の今年の抱負は、文武両道です。生徒会、部活動、勉強を両立することによって、後輩たちの見本になりたいと思います。工大高校の代表としてこの1年間全力で頑張ります。



【執行部】みなさんが少しでも楽しく学校生活を過ごせるように頑張りたいです!よろしくお願いします!



【執行部】生徒会に入るのが初めてでいろいろわからないところもあると思いますが、みんなの意見をできるだけ取り入れて充実した学校生活が送れるよう頑張っていきたいと思います!



【執行部】私は現生徒会で1番長く務めている生徒会委員なので効率的に生徒会の仕事が進むよう、生徒会の仲間をサポートしていきたいと思っています。また先輩の教を伝えたいと思います。よろしくお願いします!



【執行部】新体制の生徒会では、行事の運営等をつつがなくしていく、生徒一人一人と共に在る生徒会であるよう、また、私自身もその一員として頑張っていきたいと思っています。



芸術鑑賞

邦楽ユニット
あべやwithひむかし
5/31(水) 上野学園ホール

津軽三味線と和太鼓を中心とした邦楽を鑑賞しました。

2年6組 根引 日向子 (五日市南中学校出身)

芸術鑑賞を通して良かったことは、自分が知らない楽器の名前や演奏方法を知れたことです。和太鼓も三味線も、生で見るのは初めてだったのですが、和太鼓はただ叩くだけでなく、腕を回して叩いたり、腕を振る大きさを変えたりして叩いているんだということが分かりました。三味線も、強く弾いたり、弱く弾いたりすることで音も迫力も変わってくるということが分かりました。今回、何事も難しいと思うのではなく、できるかわからなくてもとにかく挑戦することが大切だということも学んだので、これからの学校生活や行事の時に、できるか分からなくても挑戦したいと思いました。

1年3組 大地 夏鈴 (熊野中学校出身)

私はこの芸術鑑賞を通して、和楽器の楽しさや魅力を再認識することができました。私は学校の取り組みとして小学6年生から中学3年生までの4年間、和太鼓を中心とした和楽器演奏を行ってきました。締め太鼓が担う基本のリズムのペース維持、篠笛の甲音(高音)、太鼓を叩く時の姿勢、そのどれもが厳しく地道な努力を要するというのを、身をもって知っています。そのため、「もう和楽器を演奏したくない」と思っていました。ですが、今回の演奏を聞いて、「私もまた演奏したい!」と感じている自分がいることに気付かされました。演奏を聴くたびに心が躍り、想像力が掻き立てられて、私も奏者の皆さんに交ざって音を奏でたいと思いました。私が自分の気持ちに気付けたのは、パフォーマーの皆さんが情熱を持って真剣に楽器と向き合い、音を楽しみながら演奏をしてくださったからです。想いが込められた"音"は、聴いている人の心に新しい発見をもたらしてくれます。忘れてしまっていた感情を思い出させてくれ、新たな感情を湧かたててくれました。そんな音楽が持つ魅力を、あべやさん、ひむかしさんが教えてくださいました。素晴らしい演奏を披露してくださったあべやさん、ひむかしさん、貴重な体験をありがとうございました。

3年4組 松本 鳳暉 (己斐上中学校出身)

和太鼓と三味線の鑑賞は初めての体験でした。和太鼓では様々な大きさや形の太鼓を2本のバチで操る姿に魅力を感じました。太鼓を披露するだけではなく、客席の方を見ながら笑顔で、楽しそうに演奏されているところがとても印象的でした。その姿を見て、本当に和太鼓を演奏するのが好きなんだと思いました。一つ一つの動きが大きく迫力のある舞台でした。一方、三味線の音色を聴くのは初めてでしたが、一本一本の弦が弾かれる音が私の胸を響かせました。高い音でも優しくそして鋭く直接音色が響いてくるような感じでした。やはりプロは凄いなと思いました。演奏の合間の話も大変面白く、その一面も好きになりました。ステージの目の前がたまたま4組の席だったので、楽器そのものの音が響いて来て痺れました。高校生活最後の芸術鑑賞がこの和太鼓と三味線で良かったです。



教員も参加させてもらいました
立候補した生徒(左から1年松長空大、1年智原侑生)が見事に披露しました